資料２－２

平　和　教　育　プ　ロ　グ　ラ　ム

小学校						中学校			高等学校
第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年	第１学年	第２学年	第３学年	第１・２・３学年

ヒロシマから学ぶ　　ヒロシマ・日本・世界から学ぶ

自分 → 自分・他者 → 自分・他者 身近な集団 → 自分・他者 身近な集団・社会 → 自分・他者 社会・世界　＜視点の広がりと発展性＞

	プログラム１	プログラム２	プログラム３	プログラム４
目標	被爆の実相に触れ、生命の尊さや人間愛に気付く	被爆の実相や復興の過程を理解する	世界平和にかかわる問題について考察する	平和で持続可能な社会の実現について展望する
内容	国語科や生活科、道徳科などにおいて、児童が絵本やひろしまへいわノートなどの教材を通して、被爆した当時の様子や人々の気持ち等に触れ、自分や家族、友達、動植物など生命あるすべてをかけがえのないものとして尊重し、大切にする心情を育てることができる指導の内容とする。	国語科や社会科、道徳科などにおいて、児童が被爆体験を聴いたり、ひろしま平和ノートなどを活用し、国際平和文化都市を目指し復興を遂げてきた広島市の様子について調べたりするなどの学習を通して、被爆の実相について理解するとともに、郷土の発展に努めてきた人々に対する尊敬や感謝の念を深めることができる指導の内容とする。	国語科や社会科、道徳科などにおいて、生徒が被爆の実相をはじめ、国際社会の諸問題について、平和で持続可能な社会を形成するという観点から、教科書やひろしま平和ノートなどを活用して、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究し、自分の考えをまとめるなどの学習を通して、世界平和にかかわる問題について考察することができる指導の内容とする。	国語科や地理歴史科、公民科、外国語科、特別活動、総合的な探究の時間などにおいて、生徒が社会背景や世界情勢等を踏まえ、被爆の実相をはじめ、国際社会の諸課題について、教科書やひろしま平和ノートなどを活用しながら、多面的・多角的に探究し、望ましい解決の在り方についての考察を深めるなどの学習を通して、平和の尊さや人間の尊厳についての認識を深め、平和で持続可能な社会の実現について展望することができる指導の内容とする。

具体的な取組

【継承】・【発信】　ひろしま平和ノート

小１	小２	小３	小４	小５	小６	中１	中２	中３	高Ⅰ	高Ⅱ	高Ⅲ
みんなのたからもの（図、図、道）	みんな生きている（生、道、国）	せんそうがあったころの広島（社、道、国）	広島のひばくと伝えたいこと（社、道、国）	広島の復興と人々の願い（道、道、国）	これからの広島（社、社、国）	人々の平和への思い（道、道、国）	広島と世界とのつながり（道、社、国）	持続可能な社会の実現（道、社、外）	ヒロシマ（特別活動等）	平和で持続可能な社会について（特別活動等）	私たちの平和プロジェクト（特別活動等）

【継承】被爆体験を聴く会　【継承】平和を考える集い　【継承】平和教育アーカイブス　【発信】ひろしま子ども平和の集い　【発信】「平和への誓い」アクションプログラム

【発信】こどもピースサミット　【発信】伝えるHIROSHIMAプロジェクト　【発信】高等学校の特色ある取組

【継承】・【発信】　各学校の特色ある取組